

平成 30 年 5 月 31 日

NPO 法人日本躰道協会
運営局 少年少女高校委員会
委員長 板山宜弘

少年少女高校委員会発足の目的と今大会について

拝啓 軽暑の候、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より躰道の発展に多大なる御尽力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、表記の通り委員会を発足致しましたことをご報告させていただきます。周囲の影響を大きく受ける多感で不安定なこの年代を、躰道とそれに関わる全ての人々の力で導き、より良い実技と人間性を育てていきたいと存じます。何卒、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

少年少女高校委員会 委員長 板山宜弘（山梨）

委員 丹野喜美男（宮城） 鈴木史孝（静岡西部） 工藤司（山形） 木間和也（新潟）

目的：①少年少女高校年代の会員を導くべき方向性を定め、意思の統一を図ること。

礼儀礼節、調和、共栄、自立などは審判・選手・役員・保護者・観客、躰道に関わる全ての人に必要なことである。

②少年少女高校大会に関わる全ての人で創り上げること。

東京をはじめ関東近郊の全国大会が行える会場の予約が年々難しくなっている昨今、地方での開催であっても統一性と継続した発展性を兼ね備えた大会運営を行う。

③少年少女高校会員の実技向上のため、指導局と協力すること。

躰道の理想像の追求、勝てば良いという躰道に価値を置かない。

④審判員の技術向上のため、審判局と協力すること。

躰道の理想像を見据えた厳正なる判定を行う。

今大会テーマ【礼儀礼節・調和・共栄】

① 1階アリーナへの出入り時には、必ず立礼をすること【礼儀礼節】

競技中のウォーミングアップやストレッチは畳から降りて行うこと【礼儀礼節】

② 競技コート脇で待機する際は、正座もしくは安座（胡坐）で座ること【調和】

③ 県地区に関わらず、素晴らしい実技に対して拍手を送れる精神を持つこと【共栄】

決して他者の失敗を喜ばない

応援ルール

少年少女や高校生は精神的に不安定な時期である。そのため選手が力を発揮しやすい環境を創り、活気ある大会を創るため、団体責任者や観客の方々は声援や拍手を積極的に行うことが好ましい。ただし、調和の取れた躰道らしい大会運営のため、以下のことに注意して頂く。

【審判員に対して】

選手、団体責任者、競技監督、観客は、審判の判定を批判する一切の言動を禁じる。

【法形競技】

選手、団体責任者、観客は、選手呼び出しからコート入場までの間と、選手気合い発声後の声援拍手が望ましい。

【実戦競技】

選手、団体責任者、競技監督、観客は、審判員判定中の声援拍手は控える。

【展開競技】

選手、団体責任者、観客は、選手呼び出しからコート入場までの間と、極技中の声援拍手が望ましい

ウォーミングアップ会場ルール

- ・お互い譲り合いの心を持って使用するようになして下さい。同じ団体による長時間に亘る独占使用は禁止します。

以上